

# おお 大そてっ



田子浦小学校  
学校だより  
12月号  
令和5年11月28日



## 593人で作り上げた「スポーツ大会」

学校教育で行われる行事は、子供たちの成長に大きく関わるものです。私たち田子浦小の職員は、今年の「スポーツ大会」を開催するにあたり、以下の2点を目標とし取り組んできました。

- (1) 体育の授業の学習成果を発表することを通して、子供たちの運動への意欲を高め、楽しく参加し、体力の向上をめざす。
- (2) 一人一人が集団の一員としての自覚を持ち、仲間と共に工夫し、協力し合って練習に励み、お互いの良さを見付け合う。



組体操の要素を取り入れた表現運動

昨年度は5月30日に開催しました。保護者の皆様も覚えていらっしゃると思いますが、大変暑い日でした。子供たちの体調を第一に考え、自分たちの学年の種目が終わりましたら、エアコンで冷やしてある教室で涼んでから運動場に出て、他学年の応援をしました。しかし、「低学年が高学年の演技を観て憧れを持つこと、高学年が低学年の演技を優しく見守ってあげること」も、本校が求めているものです。そこで、スポーツ大会の当日だけでなく、練習においても暑さで子供たちに大きな負担を掛けないことを考え、今年度は11月22日に「スポーツ大会」を開催しました。

8時55分より、全校で開会式を行いました。その後、児童会のマスコットによる「そてっファミリーの突撃インタビュー」で、スポーツ大会に向けた子供たちの思いがなお一層高まりました。

今年のダンスは、以前、HPを通してお伝えしてありましたようにC-STARの方のお力をお借りし、一緒にダンスの練習をしてきました。どの学年の子供たちも、一生懸命練習に励んできました。当日はボンボンやバンダナを身に付けたり、組体操の要素を取り入れたりして、子供たちが心を1つにした素晴らしい演技をお見せすることができたと思っています。



富士山をバックに玉入れをする1年生

また、各クラスが協力して行った団体競技はいかがでしたか。

1年生の「玉入れ」では、高いかごを目指して一生懸命に玉を投げる姿、2年生の「大玉転がし」では、自分より大きな大玉を友達と協力して転がす姿を見て、低学年であります、学校生活を通して大きく成長していることが分かり嬉しい気持ちで応援しました。

3年生の「ダービー」は、学級閉鎖のクラスもあったため、28日の4時間目に行く予定でいました。しかし、インフルエンザの流行が収まらないため、まだ行えていません。子供たちの体調が良くなりましたらご連絡いたします。力強く走る3年生のダービーに温かな声援を頂けたら幸いです。4年生の「台風の目」では、スピード感が増し、さすが中学年だという思いをもちながら応援しました。

5年生の「綱取り」は、新たに考えた種目です。クラスで作戦を練って当日を迎えました。6年生は、1つの種目に絞るのではなく3つの競技を準備し、クラスで相談し、それぞれの競技に出る人を決めて「三種～綱引き、リレー、玉入れ～」を行いました。このような取組は、これまでありませんでした。子供たちの思いを大切にしたいという教師と子供たちの思いを形にしたものです。

5、6年生の「組体操の要素を取り入れた表現運動」の演技が終了した時の運動場を包むような大きな拍手、その拍手の中、力を出し切った子供たちの満足した笑顔を見て、本当に素敵な子供たち、そして、温かく子供たちを育ててくださる田子浦地区の素晴らしさに目頭が熱くなりました。

保護者の皆様、地域の皆様に感謝しております。本当にありがとうございました。

## 新しいホームページをご覧ください、ありがとうございます。

新しいHPをご覧くださいありがとうございます。保護者の方より「HPの子供たちの様子を見ることで、学校の様子が良く分かります。」という話を伺い、大変嬉しく思っています。今年度中は、古いHPも新しいHPもご覧いただけます。古い方はこれまでに200件、新しい方も80件以上の内容をアップしています。これからも、ご覧ください。

